

第 64 回オール横浜コンテスト 規約

(注)今回は下記の項目(太文字)に変更・追加があります;
①開催日時(海の日) ②QRP符号 ③結果送付

★主 催: 日本アマチュア無線連盟・横浜クラブ

★日 時: 2012 年 7 月 16 日(海の日) 05:00~06:59(JST)

★参加資格: 日本国内のアマチュア無線個人局(クラブ局 および ゲスト OP は不可)

★使用周波数: 28MHz 帯(JARL主催コンテスト周波数に準ずる)

★参加部門: 市内電信、市内電話、市内複合(電信電話)、市外複合、(エントリーは 1 部門のみ)
複合参加として 一般団体(クラブ)対抗を設ける

★ 交信方法: 呼出;市内局 電信「CQ YC test」、電話「CQ 横浜コンテスト」

市外局 電信「CQ YCX test」、電話「CQ 横浜コンテスト」こちら市外局
コンテスト NR; RS(T)+区コード番号(区コード番号表参照)

★交信相手: 横浜市内局は横浜市内および横浜市外局との交信が有効、市外局は横浜市内局のみ有効

★得 点: 完全なる交信において 電話 1 点、電信 2 点 (特例あり)

★マルチ: 横浜市内局:行政区+市外(最大 19 マルチ)、市外局:市内行政区(最大 18 マルチ)

★総得点: (得点の和)x(マルチの和)

★注意事項: (1)ログ・サマリーシートの提出は電子メールを推奨する

郵送の場合は JARL 制定または同等様式で用紙は A4 版を使用のこと

電子メールの場合 JARL 電子ログ提出要項に準じ添付でなく本文(テキスト形式)に貼付とする、
メール件名は必ず「横浜コンテスト」+「コールサイン」とする 記入例:【横浜コンテスト JA1XXX】

(2)運用場所は 1 ヶ所とし移動局はサマリーシートに必ず町名まで明記のこと

(3)移動局との交信でログに移動の明記の無いものは無効とする(例 /1)

(注)移動局は相手局に移動で運用していることが伝わるよう配慮すること

(4)市外局同士の交信は得点にならない

(5)同一局との電信および電話の交信を有効とする

(6)ログ未提出局との交信は未確認のため得点とにならない

(参加局はログまたはチェック・ログの提出をお願いします)

(7)クラブ対抗に参加される局は個々のクラブ名をサマリーの「登録クラブ対抗」欄に明記のこと、

(8)新人賞は、開局 5 年未満の再免許申請をしていない局が対象、但し再開局は除く

(9)昨今の電力事情等を考慮し最大送信出力を 200W に制限する

(10)省エネを推奨するため QRP 賞を設ける、送信出力 5W 以下の局が対象、サマリーに送信出力
を明記のこと、 (注) QRP符号は不要

(11)その他の規則は JARL コンテスト規約に準じる

★提出先: 郵送の場合; 〒226-0005 横浜市緑区竹山 2309-914 「コンテスト係」入谷 雅久

e-mail の場合; ja1cp@jarl.com (e-mail 受領に対し返信する)

郵送ログでもサマリー e-mail 欄にアドレス記載があれば受領返信する

★締 切: 2012 年 8 月 10 日(当日消印有効)

★結果送付: サマリーに e-mail アドレス記載局のみ、e-mail アドレスのない希望者は SASE 同封のこと

★表 彰: 市内複合、市内電信、市内電話、市外複合、クラブ対抗の各部門 上位 3 位まで表彰、
新人賞、QRP 賞 および 特別賞を用意

『区コード番号表』

鶴見区	01	南区	05	港北区	09	緑区	13	青葉区	17
神奈川区	02	保土ヶ谷区	06	戸塚区	10	瀬谷区	14	都筑区	18
西区	03	磯子区	07	港南区	11	栄区	15		
中区	04	金沢区	08	旭区	12	泉区	16	市外	00

★特記事項:

1. 今年もJARL 横浜クラブ局 JA1YCS を運用する。JA1YCS と交信された局には次の得点を与える
市内、市外、電信、電話に関係なく 5 点
2. アワード「WAY賞」発行の特例：(WAY 賞は横浜市の全区(18 区)と交信することが条件です)
本コンテストでの交信により、WAY賞を申請する事が出来る。
但し、One-Day の扱いはしない。なお、特記事項にコンテスト名称を記載する。

申請の受付は本コンテスト結果発表後から 2012 年 11 月 30 日までとする。

申請は別途、サマリーシートを用意し「WAY賞申請」と記入し氏名にローマ字を付け

申請料 500 円(定額小為替又は切手)を同封し下記のWAY賞係へ郵送すること。

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-1-10 「WAY賞係」 高野 博

以上